

2020年度 第4回広報委員会 議事録

日 時 2021年1月21日(木) 13:30～17:00
 会 場 WEB 会議
 出席者 11名

(敬称略)

代協	委員名	代協	委員名	代協	委員名
沖縄	野原 早織	東京	○ 大和 親英	高知	都築 弘典
北海道	姫野 芳安	愛知	橘 恭浩	鹿児島	○ 田中 拓
神奈川	酒井 錦吾	奈良	辰巳 嘉敏		

<担当副会長> 横山 健一郎 <事務局> 常務理事:小見 隆彦、特命部長:大谷 隆(記)
 <オブザーブ> 新日本保険新聞社 金井次長、日本代協ムービー制作チーム

:委員長、 :副委員長

<委員会での決定事項>

- ・「みなさまの保険情報」紹介動画を理事会、ブロック協議会、支部会等で案内する。
- ・HP運営ガイドラインについて、1週間後までに意見を出し合い、3月の理事会に提出する。
- ・委員会での討議内容は必ず担当ブロック長に伝達する。

議 事

・挨拶

1. 野原委員長挨拶

- ・改めまして、あけましておめでとうございます。あつという間に年末年始が過ぎ去った様な気がします。
- ・第3回の委員会から大分時間が経ちましたが、この期間でも各地域でコロナ感染のニュースが話題になっており、沖縄においても緊急事態宣言が再発出されました。
- ・このような状況下においてもWEBで会議を行えるというように時代の変化を感じております。
- ・1/1のPR動画も配信前はいくつかの修正点が発覚しましたが、今は修正が完了し順調に配信されています。
- ・今年度の広報委員会はかなり討議事項が多かったですが、これら反省点も踏まえ本日しっかり討議していきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

2. 司会進行・議事録作成者の指名

- ・司会進行に大和副委員長、議事録作成者に事務局が指名された。

・報告事項

1. 報告事項

(1) 第6回 理事会報告

事務局より、配布した第6回理事会議事録の内容に沿って説明が行われ、以下の補足をした。

- ・事前に各都道府県代協より提出された2021年度日本代協事業計画の提言につき承認され、次回理事会の審議事案に入れる。
- ・仲間づくり推進の起爆剤として「入会目標達成キャンペーン」と「年度通算の減店脱却キャンペーン

ン」の実施が承認された。

- ・日本代協コンベンションで実施予定であった会員懇談会の質問事項の回答案につき、承認された(質問・回答は日本代協HP 会員専用書庫 参照)。
- ・2021 年度第 39 次 PIA S の中止が承認された
- ・全国社労士会連合会と連携し、「社労士診断認証制度」の活用に積極的に取り組むことが承認された
- ・事業計画進捗状況について、地区担当理事・各委員長より報告があった。

(2) 前回委員会振り返り

前回の広報委員会の論議内容、決定事項等を議事録で確認した。

(3) 正副会長・各委員長打合せ報告

野原委員長より、12/9 に開催された正副会長と各委員長の打合せ報告が行われた。

- ・今年度諮問事項の進捗とその反省点を受けて、次年度に向けての課題について下記情報共有を中心に行った。
- ・代協の存在意義、代理店の価値、代理店を選ぶことの重要性を代協会員がお客さま面談時に活用できる動画を作成し配信する。
- ・「みなさまの保険情報」を動画作成・配信等により広く徹底し活用率 5%超に高める。
- ・各代協ホームページを活用した情報発信に努める(SNS活用ルールを含めたガイドラインの策定)。

・情報共有

小見常務より下記情報提供があった。

(ゆうちょ銀行情報)

- ・ゆうちょ銀行が口座の貸し越しの手続き・住宅ローンの直接の取り扱いを開始すると仁義を切ってきました。それに付随する長火の取扱いの申請も行うとのこと(引き受けの保険会社は損保ジャパンと三井住友海上)。
- ・こちらとしては、現状と課題に書いてある通り、国の資本が入ったもので民業圧迫になるので反対であると伝えました。
- ・金子会長も郵政民営化委員会に出席いただき、改めて反対の意思表示をしていただきます。
- ・しかし、申請については法的に止められるものではないので動き出してしまっています。

・審議事項

1. 「みなさまの保険情報」活用推進

(1) 2021 年 4 月号 企画案

- ・新日本保険新聞社の金井次長より、「みなさまの保険情報」2021 年 4 月号の企画案が提示された。
- 1 面の保険業界のテーマについて、以下の 3 案が提示された。

「BCP への理解・促進」

「コロナ禍でのサイバーリスクへの意識向上」

「改めて交通ルールの徹底を」

(主な意見)

- ・ 案で、改めて徹底する交通ルールは、ナンバープレートの移設や取り付け角度が厳しくなるという内容だけなので、あまり関心が無いのではないかと。
- ・ 案は自然災害の防災・減災に関する内容だが、BCPは中小企業向けのイメージがあり個人には馴染んでないのではないかと。
- ・ 案はリモートワークが進み漏えいリスクが増えつつある点に触れているが、保険会社によってはサイバー保険を取り扱っていない保険会社があると思われるので全面的に保険を推奨するのは控えた方が良いのではないかと。

多数決により提案された3案の中から「コロナ禍でのサイバーリスクへの意識向上」を1面のテーマとする内容で決定した。

- ・ 2面以降のテーマについては以下提案があり意見無く提案内容で決定した。

2面：事故削減は徹底した睡眠管理するだけで効果的！

3面：最近の労働基準監督署の調査動向について

4面：腹筋「ポッコリお腹の解消で腰痛予防にも効果的」

(2)今後の推進

みなさまの保険情報の活用動画を作成したので、情宣方法につき討議した。

(主な意見)

- ・ 各支部の広報委員会に案内し、広報担当者から役員・理事に広めてもらうよう依頼する。
- ・ 活用による成功事例や、お客さまの声を動画に入れられればなお良いと思う。
- ・ 県理事会・役員会、支部例会での伝達・斡旋を積極的に行う。
- ・ 理事のグループLINEに貼り付けて広める。
- ・ みなさまの保険情報の内容につき、お客さま・会員からの意見を吸い上げ反映させる。
- ・ 県代協のFacebookに貼り付ける。
- ・ お客さまのLINE情報を取得し発信したらどうか(SNS等含む)。

(小見常務より)

- ・ やはり、お客さまの声を集めていかないと、これから使おうとする会員に響かない。
- ・ 今までは、キャンペーン方式で増やした経緯があるが、そのハレーションで停滞している。
- ・ 各紙面を動画で作成できれば、お客さまとの面談時に見せて使えるツールになるのでは。

以上の討議を踏まえ下記による推進が決定した。

- ・ 紹介動画はYouTubeチャンネルに貼り付ける。

- ・動画の活用については各都道府県代協理事会・ブロック協議会・支部例会で上映を依頼する。
- ・お客さまの声収集方法は別途討議する(次回改定時に反映させる)。
- ・新日本新聞の紙面上でも継続的に QR コードを貼り付けて情宣してもらう。

次回お知らせチラシの執筆担当は辰巳委員であることを確認した。

2. 2020 年度 PR 企画進捗状況・課題の確認

(1) PR 動画作成総括

株式会社ユーティーワイ企画より動画作成の総括が下記の通りあった。

- ・これまでの動画制作の流れを説明し、12/14 全県校了、12/24 YouTube へ、1/1 全ムービー公開。
- ・特設サイトでは、位置情報が設定されており閲覧場所のブロックが表示されるようになっている。
- ・音声アプリ「voicy」で1月・2月「毎日新聞」番組提供開始。
- ・DVD は2月中旬納品予定。

特設サイト・SNS 運用報告(1/1～1/20)

- ・特設サイトへのアクセス 824 回(556 人)、平均滞在時間 約 1 分と普通だが直帰率が 90%と高いため今後の課題となっている。
- ・アクセスまでの経路につき説明があった。
- ・YouTube 視聴は 3,671 回(76.2 時間)、特設サイト等からのアクセスが 33.0%、海外からのアクセスも見られた。
- ・Twitter のフォロワー数が 61 と 1 日 3～5 名がフォローされており少ない数字ではない。
- ・Twitter 拡散は「震災」のキーワードが最も注目される 3/1～3/11 に 150 万リーチの拡散を予定。

(小見常務より情報提供)

- ・損保協会主催、読売新聞協賛で 3/3 15 時～17 時「東日本大震災 10 年セミナー」(仮称)が開催されます
- ・講演は財務省、金融庁、代協、外社協、挨拶は損保協会 廣瀬会長、金融庁 栗田監督局長、新川総括審議官を予定。
- ・WEB で参加できるように案内します。

(2) 次年度課題の討議

次年度の PR 企画について討議した。

(野原委員長)

- ・次年度は代協の存在意義、代理店の価値、代理店を選ぶことの重要性を伝える、代協会員がお客さま面談時に活用できる動画を作成し、配信していきたい。
- ・これまで 3 年間は 47 都道府県代協の動画を作ってきたが、費用対効果がどうだったのかを含めて、原点に戻って消費者の見る立場、見た時の分かりやすさを考えて 2021 年度の PR 動画を作成したい。

(事前討議内容)

- ・過去 50 本の動画作成がプレゼンの際に見栄えが良く採用されてきたが、数が多ければ良いというものではないのではないか(各代協の負担もある)。
- ・制作費と広告費を分けて考えた方が良いのではないか。
- ・予算 1,000 万の是非(金額についてもプレゼンの評価とする)。
- ・消費者向けの使いやすい動画を作成する。
- ・プレゼン業者には事前の説明会を行うことにより、こちらの趣旨を伝えられるのではないか。

(主な意見)

- ・動画制作業者選定会に広報委員だけでなく、役員・会長・事務局まで参加してもらったらどうか。
- ・過去 3 年間は消費者まで踏み込んでいないような気がする(難しい課題だが)。
- ・各県の PR 動画は負担になっているところもあるので、不要だと思う。
- ・情宣に予算を掛けた方がいい(YouTube はお客さまの前でも紹介しやすい)。
- ・業者は業界に関係ないので、より消費者に近い立場で動画が作成できるので趣旨をしっかりと伝える。
- ・2021 年度事業計画案に「損害保険トータルプランナーの存在と価値」を PR することが予定されているので、改めてこの点をアピールして欲しい。
- ・業者に対してもテーマを絞った方が作成しやすいのではないか。
- ・内輪だけの満足になっていないか、消費者に伝わってこそのものであり広報としてどうやって消費者に伝えることができるかを考えるべきです。

以上討議内容を踏まえ、別途 WEB 会議を開催し要項を作成することとなった。

3. 都道府県代協 HP ガイドライン作成

大和委員長より都道府県代協 HP 運営ガイドライン PT で作成した「HP・SNS ガイドライン(仮称)」の内容について説明があった。

- ・制定の背景は、次々と出現する SNS の活用推進と従来の HP 運営における必要項目や基本的マナーを整理するため作成した。
- ・目的は、ガイドラインに付随しているチェックシートを用いて、都道府県代協の Web 管理者が自己点検を行う際に活用できることを念頭に置いている。
- ・ガイドライン上では、「必須」「禁止」「推奨」の 3 つの項目に分けて、定期的な自己点検項目を明確にさせている。
- ・情報発信のターゲットを日本代協は、主に消費者・行政向け、都道府県代協では主に所属会員向け・未加入代理店・保険会社向けとし、情報の重複を避けている。
- ・ガイドラインは強制するものではなくあくまでも自己チェックの際の参考としてもらうもの

特に意見無く、もう一度内容を確認し 1 週間後に direct で意見を出し合う(3 月の理事会に提出)。

閉会・その他

1. その他情報提供

- ・野原委員長より、広報委員会の討議内容は担当する各ブロック長に必ず伝達し展開するよう強く要請があった。

2. 本日の到達点の確認

- ・事務局より、本日の決定事項を再度確認した。

3. 横山副会長閉会挨拶

- ・長時間お疲れさまでした。今回の会議で検討され決議した事項については、各ブロック長への伝達を再度お願いします。
- ・このコロナ禍において、先行きの見えない不安が蔓延する世の中だからこそ我々は様々なりスクに対し事前に軽減策を講じて、それでも人間の力が及ばないときに自助としての保険を備えるのだという事は語るまでもありませんが、一人でも多くの人にこのことを伝えるのが我々の使命だと思います。
- ・PR動画は非常に良いものに仕上がったと思います。元旦に公開され「あれから10年」と、当時の被災地の写真がちりばめられていて、悪夢のあの日が思い起こされます。
- ・続いて47都道府県の代表者がWebサイトで、それぞれの地域で見まわられた自然災害を振り返り防災の重要性を伝えておりました。
- ・昨日 各代協のYouTubeを視聴しましたが、視聴回数が合計で2,050回、平均43.6回と一日当たり平均2回視聴されております。
- ・これまでも、保険の契約者のもとより、消費者に向けた情報を提供してきましたが、平成元年生まれは今年32歳、阪神・淡路大震災から26年経過しており平成生まれの子は当時6歳と記憶の中にうっすらとあるくらいではないでしょうか。
- ・TVではコロナ報道合戦に沸いていますが、確かな情報が伝わっているのか疑問に思います。不安を煽った報道は良くないのではないのでしょうか。
- ・保険会社や業界団体からの情報を我々が日常、地域に根差した活動で得られた知見と併せて防災・減災・縮災に対する意識を地域の人たちに持ってもらう保険で備えることの大切さを訴えていく事が重要なのだと思っております。
- ・皆さんがブロックの代表として広報に携わる議案について検討し意見を交わしていただき、各代協の活動の活性化・情報という名の血流を良くする役割を果たして頂いていると思いますが、今一步、ややもすると伝わっていないような事があるように思われます。
- ・是非、良い中身に物が出来上がっているの各会員や消費者・契約者にまで届くような形で伝えて下さい。
- ・引き続き広報活動にご尽力お願いします。本日はお疲れさまでした。

以上

次回開催日 2021年4月7日(水)13:30～17:00